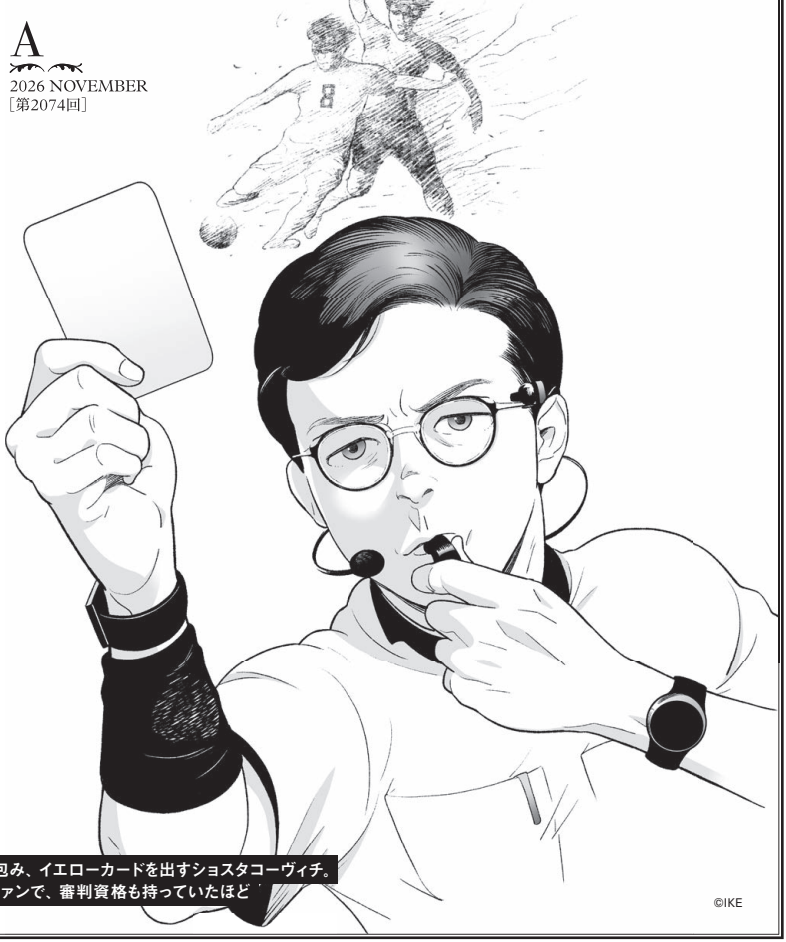
イラスト：IKE／文：松井治伸

ショスタコーヴィチとサッカー

「苦悩」の作曲家のもうひとつの顔

今年はFIFAワールドカップ2026に沸いた年。もしもショスタコーヴィチがこの世に舞い戻ったら、きっと熱心に観戦していたことでしょう。彼は熱烈なサッカーファンでした。足しげく観戦に通い、ひいきのチームの選手と交流しただけでなく、試合結果や得失点差、ゴールした選手名などを詳細に記録したノートまで残しています。彼のノートは、戦前のソ連サッカーの記録を補う貴重な資料になっているそうです。当局からの批判に神経をとがらせながら作曲を続けたショスタコーヴィチ。彼にとってサッカーはつかの間の安らぎだったのかもしれません。

A
2026 NOVEMBER
［第2074回］



現代の審判服に身を包み、イエローカードを出すショスタコーヴィチ。
筋金入りのサッカーファンで、審判資格も持っていたほど

©IKE